

令和 7 年度 市町村への指導事項（案）

**宮城県生活習慣病検診管理指導協議会
生活習慣病登録・評価部会**

現状から見える課題と指導事項（案）

死亡統計及び各登録から見た現状（宮城県）

<脳血管疾患>

- ・年齢調整死亡率は長期的には減少傾向にあるが、男女ともに、依然として全国平均を上回っている。特に、脳内出血の死亡割合が全国平均より高い状況である。
- ・脳梗塞の発症数は増加し、くも膜下出血はやや減少傾向にあるが、脳内出血はわずかに増加している。

<心疾患>

- ・年齢調整死亡率は、長期的には減少傾向にあるが、近年は男女ともに横ばい傾向で推移している。直近では男女ともに全国平均をやや上回っている。特に、不整脈及び伝導障害の死亡割合が全国平均より高い状況である。
- ・急性心筋梗塞の発症者は増加傾向にある。発症者のうち高血圧症を有している者が約7割、糖尿病、喫煙習慣を有している者がそれぞれ約4割である。特に40歳以下の若い発症者は、他の年代と比較して喫煙習慣の割合が高いのが特徴である。

<がん>

- ・年齢調整死亡率は長期的には減少傾向にあるが、近年、男女ともに横ばい傾向で推移しているが、直近では女性がわずかに全国平均を上回っている。部位別では、男性は、肺がん、大腸がん、女性では、乳がん、大腸がんが高い状況である。
- ・年齢調整罹患率は、直近では男女ともに全国平均を上回っている。特に、大腸がん、胃がんの罹患率が全国より高い。

課題と強化すべき対策

（１）一次予防の取組強化

本県は、栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙などの生活習慣に課題が多いことから、引き続き、一次予防の取組を強化する必要がある。

（２）健（検）診の普及や取組の推進

生活習慣病の予防のために、特定検診及び特定保健指導の実施率を向上させる必要があるとともに、がんの早期発見のために、受診率向上の対策を更に強化する必要がある。

（３）循環器病、がんに関する正しい知識の普及啓発

引き続き、住民への正しい知識の普及啓発を行う必要がある。

（４）その他

科学的根拠に基づく対策を推進するために、各種データを活用する必要がある。

令和7年度 市町村への指導事項（案）

項目	指導内容	対象市町村
一次予防の取組強化	<p>○ 循環器疾患及びがんを予防する生活習慣の普及啓発 適正体重の維持、減塩、野菜摂取量の増加、健康に配慮した飲酒、身体活動量の増加、禁煙など、循環器疾患やがんを予防する生活習慣の普及啓発や環境整備に引き続き取り組むこと。</p> <p>○ 受動喫煙防止対策の推進と禁煙支援 喫煙率が高く、喫煙は循環器疾患のリスクファクターであることから、喫煙による健康影響に関する普及啓発や保健指導等の実施により、特定保健指導対象者を減らす取組を実施すること。また、禁煙支援マニュアルに基づいた禁煙の実行・継続につながる効果的な保健指導を実施すること。</p>	全市町村
健（検）診の普及や取組の推進	<p>○ 健康意識の向上のため、特定健診対象年齢に関わらず、生活習慣病発症後の影響などを踏まえた健診の必要性を周知するとともに、健診等の実施率向上や生活習慣病予防に関する普及啓発を実施すること。</p> <p>○ がん検診等による、がんの早期発見の重要性について、広報誌、ホームページ等あらゆる機会を利用して、引き続き啓発に努めること。</p>	全市町村
循環器病、がんに関する正しい知識の普及啓発	<p>○ 循環器疾患及びがんに係るセルフチェックや兆候について周知するとともに、気になる状態や症状が続く場合は、次の健診・検診を待たずに医療機関を受診するよう周知を図ること。</p>	全市町村
データ利活用による効果的な保健事業の展開	<p>○ KDBデータの分析・活用をさらに進め、地域の特性を踏まえた保健事業等の効果的な実施に努めること。</p> <p>○ がん検診の精度管理向上のため、がん登録情報を積極的に利活用すること。</p>	全市町村